

第1回環境政策懇談会の概要

■開催日 令和3年6月2日（水）

■会場 境港商工会議所 2階会議室

■懇談会参加者

（順不同）

所属	役職	氏名
三光株式会社	代表取締役社長	三輪 昌輝
有限会社環建	代表取締役	渡邊 昇
オキイ清掃有限会社	専務取締役	岡村 真充
株式会社渡辺商会	代表取締役	渡辺 三矢
ローカルエナジー株式会社	専務取締役	森 真樹
合同会社境港エネルギーパワー	社長	柴田 秀信
山陰アシックス工業株式会社	業務部次長	宮内 伸人
堀田石油株式会社	総務部長	前田 佳彦
境港商工会議所	事務局長	庄司 亨

■主な意見

- ・脱炭素の施策が重要。設備投資するにも常に CO2 削減を意識することや、カーボンフリーの電気を買うなどの施策を盛り込んでいくということ。
- ・脱炭素の施策を導入するには、ある程度のインセンティブが必要。
- ・境港は、コンパクトでスマートシティを作りやすい規模。色々なアイデアを詰め込み、他の自治体のモデルになるものができないのではないかな。
- ・自家消費型の太陽光を進めていくことは、経済的にも環境的にもメリットがある。
- ・産業中央線両脇の農地など、人の手の入らないところが、不法投棄の温床になっているこういった土地を活用できるようになれば良い。
- ・不法投棄は、官民一体となって処理していきたい。
- ・カーボンフリーの電気を開発していくと同時に、証書とかクレジットなど相殺していく部分の開発も政策的に必要ではないかな。
- ・木と同じように海藻も CO2 を吸収するのでカウントしてもよいのではないかな。
- ・カーボンオフセットという手段は、境港市として持っていないとみんなが苦勞するのは間違いない。
- ・妖怪目線で環境問題を問いかける方法もあるのでは。第三者目線からごみを捨てている人を見ることも一つの方法ではないかな。
- ・鳥取県内の SDGs の認知度は30パーセントくらい。教育の観点からも小中高の若い世代に SDGs の教育をしたら良い。
- ・環境の取り組みを観光資源としてPRして、他の自治体等に見に来てもらい、町全体のブランド力をあげる。
- ・昨年の冬の電気不足のようなことがあるので、なかなか自動車業界も電気に踏み切っていない面があるが、ガソリンは止めるということは決まっているので、これから変わっていくと思う。